

母国語が日本語ではない妊婦の方へ

このたびはご妊娠おめでとうございます。

当院では妊婦さんと赤ちゃんの安全を第一に考えて妊娠・分娩・産褥の管理を行っておりますので、妊娠・分娩・産褥のケアについては当院の方針に従うようにおねがいします。

可能な範囲で妊婦さんのご希望に添えるよう努力していきますが、安全な医療を提供するために妊婦さんやご家族のご希望に添えない場合があることをご了承ください。

・当院では簡単な英語を話せる医師、助産師、看護師はいますが、基本的に日本語のみの対応となりますのでご了承ください。

・プライバシー保護のため診察中に携帯で外部と連絡を取り、内容を説明することはできません。診察内容の説明をご希望する方は、その都度日本語の話せる通訳の方と一緒に受診して下さい。

・妊娠初期、15～17週、25～27週、35～37週に助産指導があります。その際は必ず通訳の方と一緒に来院下さい。また、ご質問がありましたらその際と一緒にお聞きください。

・妊婦さんや赤ちゃんに異常が認められ、病状の説明が必要な場合は、至急通訳の方が必要となることがあります。

(例:妊婦健診で急に入院が必要となった場合、緊急帝王切開が必要となった場合など)

上記の事項にご理解いただけない場合、分娩をお断りすることもあります。

当院では産婦さんのバースプランを念頭に、安全・プライバシーを大切にしながらお産を見守って行きたいと考えております。ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

